

2020年3月25日

総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科の塾生諸君

オンライン授業の円滑な受講に向けて

総合政策学部 学部長 土屋大洋
環境情報学部 学部長 脇田玲
政策・メディア研究科 委員長 加藤文俊
湘南藤沢 ITC 所長 中澤 仁

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を考慮して、**総合政策学部/環境情報学部/政策・メディア研究科では、2020年度春学期の授業を可能な限りオンラインで実施します。**公共交通機関による移動やキャンパスでの人の密集を避け、SFCに集う塾生の皆さんや教職員の感染リスクを少しでも低減させるための判断です。またこれによって、教室空間を使わざるを得ない授業に、できるだけ広い教室を割り当てることもできるようになります。

総合政策学部/環境情報学部/政策・メディア研究科では、オンラインでの授業が円滑に進むよう、あらゆる準備を進めています。皆さんが事前に練習できる遠隔授業ツールのテストセッションの開催や、遠隔授業ツールのマニュアル整備を進めており、遠隔授業を開講する教員の相談窓口もすでに設置しています。オンラインでの授業は教室での授業とは様々な点で異なりますが、教員は、より質の高い授業をオンラインで実施できるよう創意工夫を凝らして準備を進めています。そこで塾生諸君におかれましても、自宅等不特定多数との接触が起きにくい場所で円滑に授業を受講できるように以下の準備を整えてください。キャンパスが一丸となってこの状況を乗り越えるべく、諸君のご協力をお願いします。

1、インターネット接続環境の準備

自宅のインターネット接続手段に通信容量上限等の制約がある場合、そうした**制約がない回線を契約することを推奨**します。新たに回線を引く場合、2,3週間を要することもありますので、早急に検討してください。

※ 90分の授業は最低でも数百MB程度の通信量を要します。スマートフォンの「ギガ」ではすぐに上限に達してしまい、それ以降は受講困難となります。

2、PCの動作確認

遠隔授業の受講にあたっては、**マイクとスピーカー（もしくはヘッドセット）、カメラは必須**です。ノートパソコンに内蔵されているものでも十分です。これらの動作に問題がないことを確認してください。

3、遠隔授業ツールの試用

塾生と教員が互いに遠隔授業ツールに習熟できるよう、4月に複数回試用機会を設けます。その機会を有効に活用して、授業開始時に困ることのないよう習熟しておいてください。

なお、インターネット接続環境の準備が授業開始時までに間に合わない等、やむを得ない場合にはキャンパスにおいて自分のPCでオンライン授業を受講することを妨げるものでは

ありません。

(お問合せ先 (いずれも_at_を@に変換))

インターネット接続環境・PC動作環境・遠隔授業ツールについて

online_at_sfc.keio.ac.jp : オンライン授業担当窓口

その他、授業に関するお問合せ

sfc-kyomu_at_sfc.keio.ac.jp : SFC 学事担当

以上